

参画と協働の芽

参画協働室
☎(740)1600

Smile Cafe

地区にある公園で 笑顔をつなぐカフェを開催

地域のチャレンジ事業「スマイルカフェ」
「任しとけ」の声に地域のつながりを実感



北陵小学校区コミュニティ推進協議会 まちづくり推進委員会
委員長 内田哲也さん

北陵地区の中には、深山地公園という緑豊かな公園があります。年に一度、ここで「虫の声と音楽の夕べ」コンサートを開催していますが、日常的にはあまり使われていない状況でした。

そんな中、コミュニティ組織がチャレンジ事業を立ち上げ、市に採択されると実現のための交付金がもらえるという仕組みができたんです。せっかく地区内に公園があるのだから、ここを活用しようということになりました。

まずは「みんなが立ち寄れる場所を作りたい」という発想で、目印になるカフェを作ることから始めたらどうかというアイデアが出ました。まちづくり委員会のメンバーに「UCC コーヒープロフェッショナル」の資格を持つ人がいることもあり、どうせやるなら豆をひいて手でドリッップした、本格的なコーヒーを味わえる場所にしようという企画。ここでしか味わえない特別感を加えました。

カフェの屋台は全て手作りです。メンバーそれぞれが得意なことを生かして、試行錯誤しながら完成させました。



のれんの色にもこだわり、緑の多い公園でも目立つピワ色に決定。「スマイルカフェ」の構想は3年ほど練りましたから、こうして形になってくると感慨深いですね。

実は、仕事をしていることもあり、今まであまり地域の活動に参加していませんでした。ですから、まちづくり委員会の委員長になることが決まった時は、正直不安だったんです。でも、長年、地域活動をしてくださっているシニアの皆さんが「任しとけ、アイデアを出してくれたらなんとかしたる」と、心強い声を掛けてくださって。本当にありがたかったです。

何度か試行的にカフェを開催して、感じたことがあります。それは、地域っていいなということ。休日に開催するカフェの準備を、平日に女性やシニアの皆さんが、積極的にしてくださいませ。

もちろん、当日の運営は僕たちがやりますが、役割分担というか、みんなで協力して開催しようという思いでつながっていると思います。

子どもたちが好きなワッフルも用意して、誰でも気軽に来てもらえるカフェ。ここが、お互いのことや地域のことを知り合える場になり、いろんなことを始められるきっかけになればと思います。



冬野菜のカレー

小学校給食で子どもたちに大人気！

おとな子どもも
食と育つ
保健センター
☎(758)4721

- レシピ 市学校栄養担当者会
- 材料 (おとな4人分)
鶏もも肉・玉ネギ …… 各 180g
ニンジン・ダイコン …… 各 120g
レンコン …… 90g
ゴボウ …… 60g
サラダ油(給食では米油を使用) …… 小さじ1
水 …… 600cc
※調味料はカレー粉(小さじ1)、薄口しょうゆ・濃口しょうゆ(各大さじ1)、塩・ガーリック(各少々)。事前に片栗粉(大さじ1と1/3)を同量の水で溶いておく
熱量(1人分※ご飯を除く): 178kcal、塩分: 1.9g

- 作り方
①鶏もも肉は一口大に、ニンジン、ダイコンはいちょう切り、玉ネギは短冊切り、レンコン、ゴボウは乱切りし、水にさらす。
②サラダ油を熱し、鶏もも肉、ニンジン、玉ネギ、レンコン、ゴボウ、ダイコンを炒め、水を加えて煮込む。
③野菜が柔らかくなったら調味料を加え、水溶き片栗粉でとろみをつけて仕上げる。

人権啓発シリーズ
生きる
人権推進室
☎(740)1150

ヘルパーとしての経験から

抽象的なカテゴリーでの理解ではなく
実際に接することで見えてくるもの

ごきげんよう。戸籍上は男性の女性弁護士、仲岡しゅんです。

さて、今回は、私が知的障がい者のヘルパーをしていたころの話をしようと思います。私が「知的障がい者」と呼ばれる人々と初めて接点を持ったのは、大学生のころでした。当時、私は、とある被差別部落によく通っていたのですが、その地域が障がい者福祉に熱心だったこともあり、成り行きでヘルパーをすることになったのです。恥ずかしい話ですが、それ以前の私は、「知的障がい者」と呼ばれる人々に対して、強い忌避意識がありました。建前の上では、「障がい者への差別はいけない」とは言うものの、本音としては、自分の身近にそういう人はいてほしくない、という気持ちを持っていたのも事実です。

ところが、ヘルパーを始めてからというもの、それまでの自分の考えは間違っただと認識しました。「障がい者」といってひとくくりにできるものではなく、当然その人その人の個性があります。マスメディアで取り上げられるような、「がんばっている障がい者像」だけでなく、笑いもあれば悩みもあり、時にはけんかもある、人間的なひとりの主体であるという、ごく当たり前のことを知りました。ヘルパーを辞めてからも、1人の友人として付き合いを続けている人もいます。

抽象的なカテゴリーでの理解ではなく、実際に人間として接することで見えてくるものがあるということ。それはおそらく、性的マイノリティの場合でも同様ではないでしょうか。(なにわばし国際合同法律事務所 弁護士 仲岡しゅん)

消費生活センターだより
消費生活センター
☎(740)1167

悪質な有料メール交換サイトに注意

「出会えない」出会い系サイト！
「稼げない」副業サイト！

事例1 携帯電話に届いた「会話を楽しみませんか」という広告メールを見てサイトに登録した。数人の女性から「会って話をしませんか」とメールが届いたので、何度もメールのやり取りをしたが結局会えなかった。メールを開いたり女性の写真を見たりするにはサイトで使うコインが必要で、何度もクレジットカードの決済をしたら、総額70万円にもなっていた。相手の女性はサクラだと思ふ。だまされた。返金してほしい。(80歳代 男性)

事例2 副収入を得たいと思いスマートフォンで調べていたら「メールで男性の悩みを聞くだけで高収入」というサイトを見つけた。会員登録後すぐ男性から「悩みを聞いてくれたら1,000万円あげる」という内容のメールが届いた。メールのやり取りや入金口座を知らせる時の文字化け解除などに有料のポイントが必要だったが、男性からのメールには「その料金も1,000万円と一緒に振り込む」と書いてあったので、クレジットカードで約45万円払った。いつまでたっても入金されずだまされたと気付いた。(20歳代 女性)

返金交渉はサイトへする必要がありますが、事例①②共にサイトの住所も電話番号も分からず、返金交渉できませんでした。サイトの連絡先が分かったとしても「メール交換の場を提供しているだけで、会員間のトラブルには関与しない」と回答してくるサイトもあります。出会い系サイトや副業サイトは、このようなトラブルに巻き込まれることが多く注意が必要です。うまい話には注意し、ネット上の見知らぬ相手を簡単に信用しないことが大切です。

市政情報
求人・募集
発表・鑑賞
セミナー
ごみカレンダー
公民館
健康・福祉
相談の案内
高齢者
中央図書館
子育て
コラム
ニュース

